

社民党多摩支部事務所

〒206-0033

東京都多摩市落合3-1-3-103

TEL/FAX 042(376)4886

THE SHAKAI SHIMPO

社会新報



号外 2019◆1.31

発行所
社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊 (水曜日発行)
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル7F
電話代表 03(3592)7515・振替 00140-1-3203
●定価 180 円 ●1 カ月 700 円 ●送料 160 円

多摩市議

いちぢ きょうこ

伊地智 恭子の

多摩市議会レポート No.15

●12月議会特集 ●2019.1.31 発行

コミック・レポート
「タンバリン通信」スペシャル- 新春特別号 -
多摩市リフォーム宣言!

「市民のひとり」として考え行動する ——2019年 いちぢ恭子の「これまで」と「これから」

市民の暮らしが壊される？

昨年も、安倍政権によって国のかたちが大きく変えられた一年でした。種子法の廃止、水道法や入管法の改悪など、国会軽視のやり押しで、市民の暮らしに直結する社会基盤が破壊されようとしています。

数々の不正疑惑が放置される一方で、障がい者雇用の水増し、大学受験での女性差別といった事実が暴かれ、社会への不信任は増すばかり。加えて社会保障は削減の一途、更に改憲を強引に進めようというのですから、私たちは何としても現政権の暴走を阻止しなければなりません。

国の理屈に従うのが議員の仕事ではない

議員になってみて判ったのは、国政の動向がいかにより自治体に影響を及ぼすかということでした。

医療と介護の分野では「適正化」という名の費用抑制が図られ、教育や育児の面でも地域の負担が増えています。政府の方針で次々と計画・報告を作らねばならず、もとより忙しい職員は苦心惨憺の毎日です。

「地方議員が国政に口を出すな」というご批判をいただくことがありますが、それでは市政がたちゆきません。国策の間違ひは、地域から声を上げて正していかなければなりませんし、その先頭に立つのが市民の代表である議員なのです。

もっと市民本位の多摩市に！

多摩市の中だけでも多くの課題があり、市民間ですら意見はしばしば分かれます。議員の仕事は、市民にとって何が最善かを**市民の立場**で考えること。議員 1 期生の私は常にそのスタンスで走り続けてきました。これからも「社会民主主義」の理想を信じる市民のひとりとして、公の場で臆さず体を張ってまいります。



多摩市議会議員(社民党) 伊地智恭子
いちぢ きょうこ



↑わりとよく聞かれるので・・・